



日高市で開催された
日高おんもさ祭りでお神輿を担ぐ浅野さとし議員

浅野さとし衆議院議員・国政レポート

皆様、今年の夏はいかがお過ごしでしたか。酷暑の中でのご活動だったかと思います。どうぞ健康第一でお過ごしください。

秋の大勝負を見据え全力疾走！

日立グループ議員団の活動を支えていく

7月10日から11日にかけて、千葉県内で日立グループ連合と日立労組の定期大会、日立グループ議員団総会が開催され、議員団会長として出席させていただきました。特に、議員団総会では、新幹事長として秦野市議会議員の八尋伸二さんが就任されました。これからは八尋さんと二人三脚で日立グループ議員団の活動を支えていきます。これまで幹事長を務めて下さった安来市議会議員の澤田秀夫さんには心から御礼申し上げます。

定期大会が始まると「いよいよ夏本番！」という気持ちになります。私の地元である茨城県でも7月から8月にかけて地域の夏祭りが行われました。特に今年は、コロナ禍の影響で休止していたお祭りが再開され活況を呈していました。地域の方々と触れ合う貴重な機会ですのでできる限り参加させていただきましたが、ひとつ悩みなのは、近年の夏の日差しがかなり強く、朝起きると日焼けで肌がひりひりする日が続いてしまうことです。皆様もそのようにお感じになったのではないのでしょうか。

政治の秋

この秋は国内外の政治情勢から目が離せません。少し前にはイギリス議会で久しぶりの政権交代があり、労働党が与党に躍進しました。アメリカでもバイデン現大統領が大統領選挙から



日立グループ議員団会長
衆議院議員 浅野 さとし

の撤退を表明し、カマラ・ハリス現副大統領が後継指名を受けました。現在、トランプ氏と激戦を繰り広げており結果は読めません。この選挙の行方は、ウクライナ戦争やパレスチナ問題、日本との経済関係にも影響を与えるでしょう。象徴的なのは、日本製鉄のUSスチール買収に関するアメリカ政治の干渉問題です。日米間の自由な経済活動を守るためにも新しい大統領には冷静かつ市場を尊重する寛容な対応を期待したいところです。

一方国内では、自民党総裁選挙が目前に迫っており、中堅若手議員が活発に動いています。新しい総裁が誕生した場合、秋の臨時国会中の衆議院解散が濃厚と予想されます。私は年内の解散総選挙に備え、この夏はこれまでの活動内容や成果を多くの皆さんに知っていただき、来る総選挙での小選挙区当選を果たすため全力で取組んでまいりましたが、さらに各組織での国政報告の機会をいただくと大変助かります。引続き、新体制となった日立グループ議員団に対して皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

幹事長の主張

日立グループ議員団幹事長 八尋 伸二 秦野市議会(日立労組/ヴァンタラ支部)

自助・共助・公助の充実で災害に強い国へ



白頃より日立グループ議員団の各種活動に対しご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

それぞれの立場で災害の備えを

能登半島地震の復興への道のりは少し遅れていると感じる中、8月8日に宮崎県沖で最大震度6弱の地震が発生しました。国は南海トラフ地震との関連を懸念し、1週間程度は巨大地震に注意が必要だという発表をしました。結果、変化は観測されず注意期間が終了したことで少しだけ安堵しました。その後、神奈川県西部でも地震が発生するなど、地震大国である日本では防災・減災のための自助・共助・公助の

備えは必要不可欠であることを再認識しました。

さらに、地球温暖化により大型化する台風やゲリラ豪雨による風水害の備えも不可欠です。

私たち地方議員としては、行政が行う公助の充実を進めることが使命ではありますが、組合員の皆様には、地域での共助とともにローリングストックなどの自助にて備えをお願い致します。

解散総選挙でのご協力を

岸田総理は、次期自民党総裁選挙に立候補しないことを表明しました。現在、総裁選には10人以上が立候補すると言われていきます。ある候補者は、総裁選挙が終了した秋頃には、衆議院の解散総選挙を行うとコメントしており、解散総選挙の可能性が高まってきました。

我々の考えを国で実現するためにも「浅野さとし(茨城5区)」氏を再度国会に送り出さなければなりません。

従前に増すご支援とご協力をよろしくお願い致します。

日立市議会

食用油の有効活用に関する新たな取組み



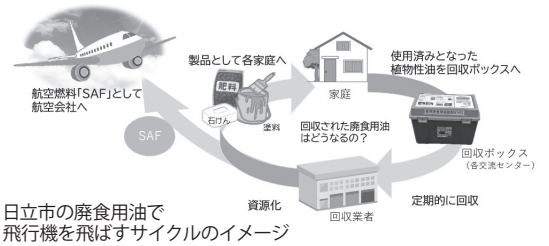
粕谷 圭

(レゾナック労組/山崎支部)

日立市の廃食用油で飛行機を飛ばそう

日立市では、ごみの減量化と再資源化を目的として平成21年から一般家庭から排出される廃食用油の拠点回収（各交流センターに回収ボックスを設置）を開始し、平成27年からは、一般家庭に加え、学校給食共同調理場および保育園の廃食用油を回収業者への有償売却を行い、石鹸や塗料などへの再利用・再資源化に取り組んできました。

一方、廃食用油は、脱炭素化が求められている航空業界において、廃食用油から生産される航空燃料「SAF (Sustainable Aviation Fuel)」が従来の石油由来の燃料に比べて飛行機から排出される二酸化炭素を6割から8割と大幅に



日立市の廃食用油で飛行機を飛ばすサイクルのイメージ

削減する効果があるため、航空業界の脱炭素化の鍵として期待されています。

そこに注目した本市は、回収した廃食用油を航空燃料「SAF」として再資源化する取組みへ移行するため、「日立市の廃食用油で飛行機を飛ばそう」というキャッチフレーズを掲げ、市民に向けて廃食用油の再資源化の必要性について情報発信を行っています。

民主クラブとしても、資源の循環に関する情報発信に努め、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいきます。

ひたちなか市誕生30周年

ひたちなか市議会



コラボポロシャツを着用しROCKオブジェ前で撮影

30th Anniversary

30th

ひとが咲くまち。ひたちなか

市誕生30周年ロゴマーク

文化、芸術、スポーツなどの分野で記念事業実施



鎌田 政人

(日立ハイテク労組/那珂支部)

ひたちなか市は、旧勝田市と旧那珂湊市が合併により誕生してから、今年の11月1日で30周年を迎えます。この節目の年に、今年4月1日から来年の3月31日までの1年間を通して、文化、芸術、スポーツなど多岐にわたる分野で、様々な記念事業を実施しています。また、30周年記念の周知を図るため、ロゴマークも作成しPR活動も行なっています。さらに、当初予定していた39記念事業は、8月末時点で51事業にまで増加しました。実施した事業の一つには、日本最大の音楽フェスティバル『ロック・イン・ジャパ

ン・フェスティバル』25周年とのコラボ事業があり、5年ぶりに国営ひたち海浜公園にて開催されます。10月以降も阿字ヶ浦花火大会や30周年記念式典など、約20事業のイベントが予定されています。

本市のホームページなどで詳細が確認できますので、多くの皆様に、ご参加いただけますと幸いです。日新クラブは今後も、シビックプライド（まちに対する誇りや愛着）を育むための環境整備に努め、さらに魅力的なまちの実現に向けて取り組んでまいります。

尾張旭市議会

移動手段の環境改善



市原 誠二

(日立労組/旭支部)

バス停の形状を工夫し腰掛けられるバス停へ

尾張旭市営バス「あさび一号」は、市民にとって重要な移動手段であり、特に免許返納後の主要な交通手段となっています。バスの利用者は増加し、年間利用者数は20万人を超えており、他の自治体からも注目を浴びています。このような中、バス停留所の待合所環境の改善の要望が多く届けられており、特に高齢者や障がい者のバス待合時の座る場所の確保などが課題と考えています。

市では、状況の改善を図るため、バスロケーションシステムの導入を計画しており、待ち時間の見える化に寄与するものと考えます。

しかし、座る場所の確保を求める声に直接応えるため、他自治体の取組



現在の「あさび一号」バス停留所の様子



バス停留所の案

み事例の調査・研究を行い、他市で事例のあるバス停の形状を工夫し腰掛けられるバス停留所の導入を市議会での一般質問で提案しました。この提案に対して、市からは、バス停留所施設の更新時に参考にするとの方針を得ております。

市民の待ち時間の負担を軽減し、より快適なバス停留所環境を実現するために、引き続き改善策を検討し、市民の声に応える取組みを進めていきます。